

読解力向上のために指導するスキルの構成について

「西脇市の児童生徒の読解力向上のために、どのようなスキルを指導すればよいか。」

西脇市学力向上推進会議では、平成31年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を基に、下記の課題について協議しました。

(1) 平成31年度全国学力・学習状況調査 西脇市小6国語について

○質問「国語の授業の内容はよく分かりますか」

●回答「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」・・・83.8%

*肯定的回答の割合が高く、授業で理解できたと考えている児童の割合が高い。

質問番号	質問事項										
(39)	国語の授業の内容はよく分かりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
平成31年度	37.1	46.7	13.1	3.1						0.0	0.0
平成29年度	24.8	50.3	18.5	6.4						0.0	0.0
平成28年度	30.7	39.2	18.2	10.8						0.8	0.3
平成27年度	28.8	46.7	20.8	3.1						0.6	0.0
平成26年度	27.3	46.0	20.3	6.4						0.0	0.0
平成25年度	24.0	52.4	18.2	5.4						0.0	0.0
平成21年度	27.5	46.4	19.3	6.6						0.0	0.2

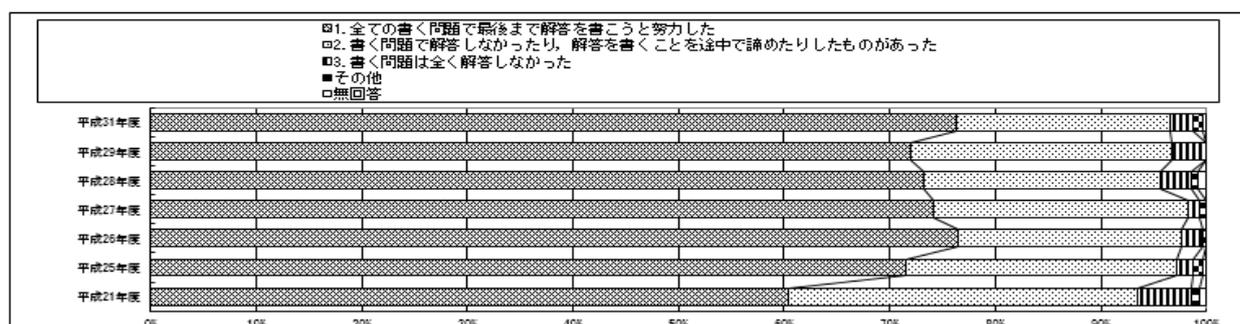


○質問「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。」

●回答「書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」・・・76.3%

*「書くこと」について解答を書こうと努力した割合が高い。

質問番号	質問事項										
(45)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
平成31年度	76.3	20.2	2.2							0.9	0.3
平成29年度	72.0	24.8	3.2							0.0	0.0
平成28年度	73.2	22.4	3.0							0.6	0.8
平成27年度	74.1	24.2	1.1							0.6	0.0
平成26年度	76.5	21.1	2.1							0.3	0.0
平成25年度	71.6	25.6	1.5							1.0	0.3
平成21年度	60.5	33.0	5.2							0.7	0.7



- (2) 平成31年度全国学力・学習状況調査 小学6年生国語領域別正答率
- 「読むこと」の正答率・・・75.6%
 - 「書くこと」の正答率・・・48.7%
 - ※ 「国語の授業の内容はよく分かる」と児童83.8%が回答しているが、調査結果では正答率に結びついていない児童が多くいる。
 - ※ 「書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」児童は76.3%と多いが、「書くこと」の正答率は48.7%と調査結果と結びついていない状況である。

- (3) 平成31年度全国学力・学習状況調査 中学3年生国語の分析より
中学校国語 **1**(二) (文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える問題) の全国(公立)の平均正答率は61.5%だった。西脇市の平均正答率はさらに低く、52.5%だった。

- 学習した内容について、児童は「分かっている」と認識しているが、実際に取り組んだ調査の解答結果からは十分理解ができていないことが見て取れる。この「分かったつもり」にしてしまっている原因の一つとして、読解力の不十分さが考えられる。
- 無解答率が高いこと、問題文がすぐに理解できず読むことがうまくいかないことで時間がなくなってしまう児童も多く見られる。
- 教員からも、「問題文が読めない」「教科書が読めない」「文章が読めない」といった子どもたちの状況が見られることが報告されている。
- 一方、市内では読解力に課題があることが長年課題となっているが、その指導方法について具体的なものがなく、「どのように指導してよいか分からない。」「まず、教員が読解力について十分研究する必要がある。」といった声が、学力向上推進委員会でも協議された。

これらの現状から、「教科書を正確に読む」「文章から情報を正確に読み取る」ことの指導が第一歩になると考えられます。

国立情報学研究所によると、「事実について書かれた短文を正確に読むスキル」(リーディングスキル)は、人間の読解プロセスから導き出された以下の力(6分野7項目)によって構成されています。

リーディングスキル

事実について書かれた短文を正確に読むスキル

①係り受け解析

文の基本構造(主語・述語・目的語など)を把握する力

②照応解決

指示代名詞(「これ」「それ」「あれ」等)が指すものや、省略された主語や目的語を把握する力

③同義文判定

2文の意味が同一であるかどうかを正しく判定する力

④推論

小学6年生までに学校で習う基本的知識と日常生活から得られる常識を動員して文の意味を理解する力

⑤イメージ同定

文章を図やグラフと比べて、内容が一致しているかどうかを認識する能力

⑥具体例同定

言葉の定義を読んでそれと合致する具体例を認識する能力
辞書由来の問題群(具体例同定(辞書))と理数系の教科書由来の問題群(具体例同定(理数))の2項目に分類